

フォトフェイシャル

<原理>

IPL という特殊な光で複数の色素に反応をおこし、シミや赤みなどの肌トラブルを同時に改善し、コラーゲンなどを作り出す線維芽細胞の働きを活性化させ、皮膚の内側から張りをもたらしめます。フォトフェイシャルファーストは従来のフォトフェイシャルよりも細かい設定ができるためより細かな治療が可能です。

<適応疾患>

シミ、そばかす、肝斑、黒ずみ、赤ら顔、ニキビ跡の赤み、毛穴、小じわ、軽度のたるみ、肌の調子を整えたい方など。

※妊娠中の方は施術することができません。

<治療方法・治療間隔・回数>

治療部位にジェルを塗布してから照射します。症状の改善には個人差がありますが、1～1ヶ月半の間隔で3～6回の照射をおすすめします。症状が改善した後も予防ケアとして照射の継続が可能です。その場合は照射間隔を少しあけていきます。

<副作用について>

- ① 赤み：治療後、照射した部位が一時的に赤くなることがあります。
- ② ヒリヒリ感：照射後にヒリヒリ感が数時間～1、2日持続することがあります。その場合は治療後にお薬を塗布し対応しますが、気になる場合はご自宅でも数日間、お薬を使用していただきます。
- ③ かさぶた：シミの部分は黒い膜のようなかさぶたになり、1～2週間程度でとれていきます。かさぶたが取れた後は一時的にピンク色の皮膚になりますが、1～2ヶ月で落ち着きます。この際、無理にかさぶたを取ってしまうと、炎症後色素沈着という新たなシミになりやすいので気を付けてください。シミの種類によってはかさぶたにならない場合もあります。
- ④ 水ぶくれ：反応が強い場合に水ぶくれができることがあります。特に夏の日焼けしている肌ではリスクが高まります。水ぶくれが早くに破れると炎症後色素沈着

になりやすいため、その際は軟膏と保護テープをお渡ししますので、落ち着くのを待っていただきます。

- ⑤ 炎症後色素沈着：東洋人は、熱を加えると炎症後色素沈着を起こしやすい肌質のため、通常の経過でも生じる場合があります。その場合は美白剤の使用をお勧めする場合があります。
- ⑥ かくれ肝斑の出現：かくれている肝斑が照射の熱により出てくる場合があります。過去に肝斑が出たことがある方は事前に担当医や看護師にその旨をお伝えください。（肝斑用の光を使うなど注意を図ります。）さらに、このような方は内服・外用・導入両方の積極的な併用をお勧めします。

<治療後>

- ・メイク、洗顔は当日より可能ですが、こすらないでください。
- ・日焼けに注意してください。
- ・メラニンの存在する部位により消退しないシミもあります。

※副作用にかかわる治療費はご本人のご負担になりますことをご了承ください。

説明医師：

以上、説明を受け、理解したうえで施術を受けることに同意します。

年 月 日

生年月日：(T・S・H) 年 月 日

氏名：

保護者または代理人： (続柄)

つくばすずらん皮膚科クリニック